

大連市における水浄化事業

新日鐵化学(株)(コールケミカル事業を得意とする企業)

大連宇都環境工程技術有限公司に硝酸性窒素除去技術を供与(2010年度)③④

大連ミッション(2010年1月)を契機に始まった両企業の交流をアジア低炭素化センターが支援

大連新港庫区污水处理場では、主に船舶の含油バラスト水などを処理。設備の老朽化に伴う改造工事に大連宇都が参画し、放流基準を満たすため、新日鐵化学の技術を採用

目的:大連港のバラスト水浄化、
技術内容:硫黄酸化脱窒菌を使った生物学的処理



バラスト水浄化の必要性

バラストタンクへ窒素ガスの供給

↓
酸素濃度の低下

↓
タンクの防食効果・海洋微生物の死滅

↓
バラスト水における硝酸性窒素の発生

↓
富栄養化(養殖被害)の恐れ

↓
硝酸性窒素の除去

環境ビジネスの2つの視点

①成熟技術の輸出

日本では必要性の薄れた成熟技術で、すでに国内ではなく、韓国でライセンスにより生産

②規制変化の先取り

中国国内ではアンモニア窒素(→亜硝酸性窒素→硝酸性窒素に変化)の規制強化の見込み